

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～F組
 教科担当者：
 使用教科書：（言語文化 大修館書店）

- 教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を表現することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として学びに向かうことができる。

科目 言語文化 の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
国語で、適切かつ効果的に表現する能力を育成することができる。	伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばすことができる。
	言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育成することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
□古文入門 歴史的仮名遣い いろは歌 宇治拾遺物語 児のそら寝 □古文の文体や仮名遣いに慣れる。 □作者の伝えたいことをとらえる。 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。【(2)イ】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)ウ】 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。【B(2)イ】 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらと比較して論じたり評論したりする活動。【B(2)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取るうとしている。	・教科書 ・国語便覧 ・国語辞典の活用 等	○	○			○	○	○	7
定期考査									
羅生門 単元 □・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)イ】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)カ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・教科書 ・国語便覧 ・国語辞典の活用 等		○				○	○	16
定期考査						○	○		1

<p>城の崎にて 単元 □主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解する。</p> <p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)カ】</p> <p>【思考・判断・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。</p>	<p>・教科書 ・国語便覧 ・国語辞典の活用 等</p>		<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。【(2)カ】</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作</p>	<p>○ ○ ○</p>	8
<p>定期考査</p>				○ ○	1
<p>伊勢物語 筒井筒 単元 □旅の行程を整理する。 □物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 □歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 □和歌の修辭技法と、その効果を理解する。 □物語中に表される古典世界の恋愛・結婚のあり方をとらえる。</p> <p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【(2)ア】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。【(2)イ】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)ウ】</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。【B(1)エ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。</p>	<p>・教科書 ・国語便覧 ・国語辞典の活用 等</p>	○ ○	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)ウ】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。【(2)ア】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。【(2)イ】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。【(2)ウ】</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。【B(1)エ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。【B(1)オ】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いを捉えようとしている。</p>	○ ○ ○	14
<p>漢文入門 単元 □漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむ。 □日本人の言語生活と、漢字・漢文の関わりを理解する。</p> <p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国</p>	<p>・教科書 ・国語便覧 ・国語辞典の活用 等</p>	○ ○	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。【(2)ア】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。【(2)イ】</p>	○	5
<p>定期考査</p>				○ ○	1

2
学
期

<p>実体の美と状況の美 単元 □美についての筆者の考えを読み取る。</p> <p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B(1)ア〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本人と西欧人の美意識の違いについて学習した内容をもとにして、自らの「美」に対する考え方を深めようとしている。</p>	<p>・教科書 ・国語便覧 ・国語辞典の活用 等</p>	○	<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B(1)ア〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本人と西欧人の美意識の違いについて学習した内容をもとにして、自らの「美」に対する考え方を深めようとしている。</p>		8
<p>3 学 期</p> <p>徒然草 単元 □ 現代人の中で「季節感」がどのような息づいているか考察し、文学が生活を写し出していることを理解する。 □ 日本の古典文学の中に息づく「季節感」について「春秋—古典歳時記」の筆者の考えをふまえて整理し、時代の変遷とともにある日本人の自然観について、自らの考えを深める。</p> <p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。〔(2)イ〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕</p>	<p>・教科書 ・国語便覧 ・国語辞典の活用 等</p>	○	<p>【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。〔(2)イ〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕</p>	合計	67
定期考査				○ ○	1